

📌 ラベルは簡単にはがせます

# 株主の皆様へ

第151期

第2四半期事業のご報告

平成27年4月1日～平成27年9月30日

# 株主の皆様へ Top Message

世のため人のために  
常に新しい価値を生み  
続ける会社でありたいと  
考えています。



株主の皆様におかれましては、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第151期第2四半期(2015年4月1日から2015年9月30日まで)における経営環境は、国内景気は回復の兆しが見られましたが、依然として先行きが不透明な状況にあります。個人消費においては、物価上昇への懸念などにより、消費行動に停滞感が残りました。労働需給に関しても逼迫した状態が継続し、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、ヤマトグループは、長期経営計画「DAN-TOTSU経営計画2019」及び中期経営計画

「DAN-TOTSU3か年計画STEP」の達成に向け、「バリュー・ネットワーキング」構想の推進や健全な企業風土の醸成を基本戦略に定め、高品質で効率的な物流ネットワークの構築、グループ経営資源の融合による高付加価値モデルの創出に取り組みました。

業績面では、主力商品である宅急便は堅調に推移したものの、「クロネコメール便」廃止の影響を「クロネコDM便」や新サービス「宅急便コンパクト」、「ネコポス」の伸長で補うには至らず、営業収益、営業利益ともに業績予想を下回る結果となりました。

第3四半期以降も引き続き、新サー

ビスを積極的に拡販するとともに、グループ横断的に連携したソリューション営業を推進することで、収益性を高めてまいります。

ヤマトグループは、常に新しい価値を生み続けることを大切にし、株主の皆様、お客様、社会、社員、全てのステークホルダーの満足度を高め、期待に答えていけるようグループ一丸となって努力してまいります。株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015年12月

代表取締役社長 社長執行役員

山内 雅喜

## 東京2020オフィシャル荷物輸送サービスパートナーに決定

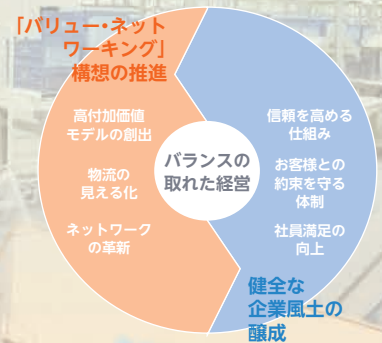
ヤマトホールディングスは、2015年8月、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と契約し「オフィシャル荷物輸送サービスパートナー」となりました。当社は、大会の円滑な運営はもちろん、付加価値の高い物流で史上最高の大会の実現を支援します。また、大会を未来に向けたイノベーションの機会ととらえ、皆が暮らしやすい都市の実現に向けた流通・生活支援プラットフォームの創出や、日本を訪れる世界中の皆様が手ぶらで日本滞在を満喫できるサービスの実現に物流面から寄与し、東京2020大会の成功と豊かな社会の実現に貢献してまいります。



# バランスの取れた経営の実現へ

ヤマトグループは、中期経営計画「DAN-TOTSU3か年計画STEP」の達成に向け、基本戦略である「バリュー・ネットワーキング」構想の推進と健全な企業風土の醸成の実現に取り組んでいます。

当第2四半期における具体的な取り組みをご紹介します。



## 1

## 「バリュー・ネットワーキング」構想の実現に向けて

宅急便ネットワークとグループの機能を融合させ、新たな物流イノベーションを創造しています。

ヤマトグループは、「バリュー・ネットワーキング構想」の推進を中期経営計画に掲げ、宅急便で培ったネットワークとグループ各社のIT(情報)、FT(金融)、LT(物流)機能の融合を進めてきました。

さらに、「羽田クロノゲート」、「厚木ゲートウェイ」、「沖縄国際物流ハブ」等の革新的なネットワーク基盤の活用で、「バリュー・ネットワーキング」構想を実現する体制を整備させ、新たな物流イノベーションを創造しています。

Pick Up



グループの経営資源である  
【宅急便ネットワーク】×【IT機能】×【FT機能】×【LT機能】

通販ビジネス向け  
パッケージサービス「YES!」

Yamato Ec Solutions  
**YES!**

近年、スマートフォンなどの普及を受け、衣料品や化粧品を中心に、B to Cの通販市場が急激に拡大しています。

「YES! (Yamato Ec Solutions!)」は、宅急便ネットワークとIT機能・FT機能を融合したサービスで、通販業務に欠かせない受注管理から送り状発行、配送、決済までをパッケージで提供します。

初期費用はかからず、ご使用量に応じた費用のみの請求のため、立ち上げ間もない通販事業者様や急成長している通販事業者様など、あらゆる規模のお客様にとって簡単にご利用いただけるサービスです。

引き続き、購入商品の受取場所の多角化、通販事業者様の業務効率化、新規出店の支援等を通じて、通販市場のさらなる発展とより便利な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

企業向けサービス  
「ヤマト クラウドデポ」

ヤマト Yamato Cloud Depot  
**クラウドデポ**

「ヤマト クラウドデポ」

は、宅急便ネットワークとIT機能を融合することで、営業や保守メンテナンスにおいて取引先等を訪問する企業のお客様向けサービスです。

取引先訪問時に必要な商材等をスマートフォンやタブレットから発注し、後日、訪問先に近い宅急便センターで引き取り、直接顧客を訪問できるようになります。これにより、全国約4,000カ所の宅急便センターを自社のビジネス拠点かのようにお使いいただくことができます。

また、ヤマトグループがご利用各社様のサプライヤーから直接、商材等を調達し、セットアップを行うなどLT機能を融合させたオプションサービスも用意しています。



## 2

## 健全な企業風土の醸成に向けて

グループのネットワークや機能を提供し、  
地方自治体と一緒に地域活性化に貢献しています。

中期経営計画で掲げる「健全な企業風土の醸成」では、「安全」「環境」「社会」「経済」の4分野の責任を果たし、ステークホルダーの皆様からの信頼、期待に応えることを目指しています。

地域活性化を目指す「プロジェクトG (government)」では、CSV (Creating Shared Value = 共有価値の創造) の概念のもと、持続的な社会的価値の創造に向けて、宅急便ネットワークやグループの機能を行政など地域の方々に提供し、共に課題解決することに取り組んでいます。

高齢者を対象とした見守りサポートやお買い物サポートなどの「生活支援」をはじめ、手荷物の一時的預かりやホテルまでの当日配送といった「観光支援」、地域の農林水産品の産物販売サポートなどの「販促・納品支援」など、着実に広がっており、総案件数は約1,300件、自治体との協定数は約250件となっています。

Pick Up



西日本初！

路線バスが宅急便を輸送する「客貨混載」を開始。

きやくか こんさい

ヤマト運輸は、2015年6月に締結した岩手県北バスとの相互連携に続き、2015年9月、宮崎交通株式会社、宮崎県、宮崎県西都市および宮崎県西米良村と連携協定を結び、10月1日より、西都市と西米良村を結ぶ路線バスで宅急便を輸送する「客貨混載」を開始しました。

宮崎県は、2011年9月に策定した「宮崎県中山間地域振興計画」に基づき、中山間地域の住民の安全・安心な暮らしの確保などに取り組んでいます。宮崎県内でも特に過疎化・高齢化が進んでいる西都市の東米良地区と西米良村、宮崎県、宮崎交通株式会社と相互に連携を図り「客貨混載」



荷台スペース



を実施することで、バス路線の生産性の向上や走行距離の削減によるCO<sub>2</sub>排出量の低減、物流の効率化を図るとともに、地域住民の生活基盤の維持・向上につなげます。今後も、中山間地域等における課題解決や地域活性化に取り組んでまいります。



宮崎県の6次産業活性化を目指して連携協定を締結。

ヤマト運輸は、2015年7月、宮崎県産品の販路拡大を通じて地域経済の活性化を図るために、宮崎県、株式会社宮崎銀行、株式会社ANA Cargoとの間で連携協定を締結しました。

宮崎県では、宮崎銀行が設立した「みやぎん6次産業化支援ファンド」を通じて生産者や事業者の取り組みを積極的に支援してきました。一方で、生鮮食品を国内外へスピーディーに輸送する物流体制の構築や、県内事業者の海外における販路の開拓などが喫緊の課題となっていました。ヤマト運輸は、宮崎県、宮崎銀行、ANA Cargoと連携し、「国際クール宅急便」などの輸送サービスを通して高品質な県産品の輸出拡大を支援するとともに、国内において

も、新たな航空・陸上輸送スキームの構築や、輸送リードタイムの短縮など、付加価値の高いビジネスの展開を目指してまいります。



調印の様子  
左からヤマト運輸 長尾社長、宮崎銀行 平野代表取締役、宮崎県 河野知事、ANA Cargo 岡田社長

# 羽田 クロノゲート 見学会の ご案内



株主の皆様には事業内容をより一層ご理解いただくため、開設以来大変ご好評いただいております。羽田クロノゲート見学コースに、株主優先枠を設けました。この機会にぜひご応募ください。

**開催日時** 2016年4～6月の土日祝日  
■ 14:00～15:30(土)  
■ 10:00～11:30(日)・(祝)

**集合・解散場所** 羽田クロノゲート受付棟

**参加費** 無料  
 (往復交通費は各自のご負担とさせていただきます)

2016.4

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    |    | 1  | 2  |
| 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

2016.5

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 |    |    |    |    |

2016.6

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    | 1  | 2  | 3  | 4  |
| 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |    |    |

## 応募要項

**募集期間:** 2015年12月6日(日)～2016年1月8日(金)  
 ※2016年1月8日消印有効

**募集人数:** 各回6名(株主様1名につき同伴者1名まで)

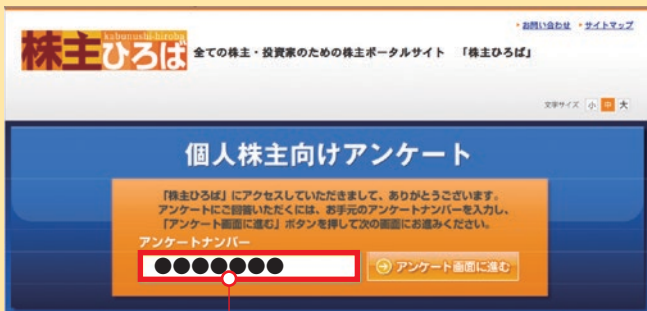
**応募方法:**

### ①WEBで応募

Yahoo!やGoogle®などの検索エンジンから「株主ひろば」を呼び出してください。

**株主ひろば**  **検索** | 応募に際しては、「株主ひろば(個人株主向けアンケート)」システムを用いて実施させていただきます。

今後の株主通信の制作にあたって、参考とさせていただきたいと思いますので、可能な限りアンケートにご協力ください。



応募方法: 「株主ひろば」(<http://kabuhiro.jp>)画面中央の入力ボックスに、(●●●●●●●●)を入力して応募画面にお進みください。

このシステムは、株式会社アイ・アール ジャパンが運営しています。

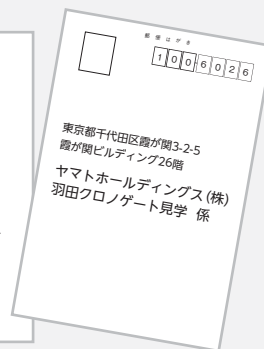
### ②ハガキで応募

郵便ハガキをご用意いただき、必要事項をご記入の上、送付をお願いいたします。

ハガキ送付先: 〒100-6026

東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング26階  
 ヤマトホールディングス(株)  
 羽田クロノゲート見学係

- ① お名前
- ② ふりがな
- ③ 郵便番号
- ④ ご住所
- ⑤ 年齢
- ⑥ ご連絡先電話番号
- ⑦ 参加ご希望日
- ⑧ 同伴者の有無



当選した株主様へのご連絡は、2016年1月中の発送をもって代えさせていただきます。

### ☎お電話によるお問い合わせ先

個人株主様羽田クロノゲート見学会専用窓口  
**03-3534-2041** (お電話による申込みは受け付けておりません)  
 12月7日(月)～1月8日(金) 平日9時～17時(12月30日～1月3日を除く)

### ●アクセス

羽田クロノゲートは羽田空港に隣接しております。

・京浜急行空港線「穴守稲荷駅」より徒歩約5分

・京浜急行空港線「天空橋駅」より徒歩約10分

・東京モノレール「天空橋駅」より徒歩約10分

※電車等の公共交通機関のご利用をお願いいたします。

見学コースはWEBをご覧ください

<http://www.yamato-hd.co.jp/hnd-chronogate/visitortour.html>

### 注意事項

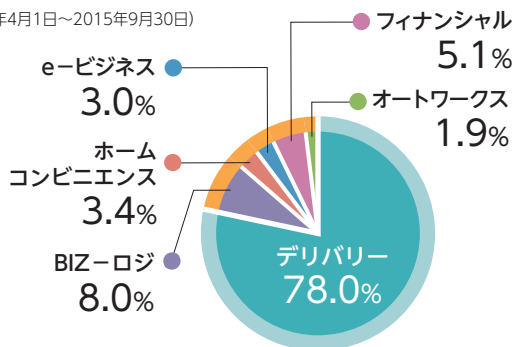
- ・お申込みはお一人様1回限りとさせていただきます。WEBとハガキの両方で申込みがあった場合は、WEBの申込みを優先させていただきます。
- ・見学コース内でのカメラ、携帯電話などによる写真撮影、ビデオ撮影、録音はできません。
- ・見学時間は90分間です。見学中に休憩時間は設けておりません。
- ・貸出用車椅子、ベビーカーをご用意しております。貸出を希望される場合は、お申し出ください。
- ・一般のお客様と合同の1グループでの見学となります。
- ・天候・当施設の都合等により、やむを得ず見学を中止、または内容を変更する場合があります。
- ・小学生以下のお子様には保護者の方がご同伴ください。
- ・当選した権利を他人に譲渡することはできませんのでご了承ください。
- ・今回ご応募いただきました株主様の個人情報は見学会の実施以外での目的では使用いたしません。



# 主要事業フォーメーション別 概況・収益構成

ヤマトグループは、基盤となるデリバリー事業に、BIZ-ロジ事業、ホームコンビニエンス事業、e-ビジネス事業、フィナンシャル事業、オートワークス事業のノンデリバリー事業を融合させ、高付加価値モデルの創出に取り組んでいます。株主様アンケートでも多数ご意見をいただいた事業フォーメーションについて、今回は、BIZ-ロジ事業、ホームコンビニエンス事業についてご紹介します。

(2015年4月1日～2015年9月30日)



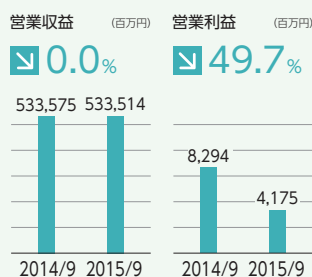
※2016年3月期より、その他に含めていた人材マネジメント事業をデリバリー事業に含めています。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しています。

## デリバリー事業

### デリバリー事業



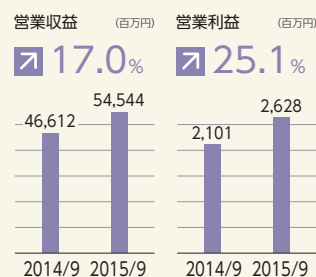
宅急便・クロネコDM便  
などの小口貨物輸送サービス



### BIZ-ロジ事業



ロジスティクス事業などの  
BtoBを対象とする  
企業間物流サービス



## Spotlight



### BIZ-ロジ事業

ヤマトロジスティクス株式会社  
代表取締役社長 兼 社長執行役員

本間 耕司



「バリュー・ネットワーキング」構想のもと、革新的な物流システムを提供します。

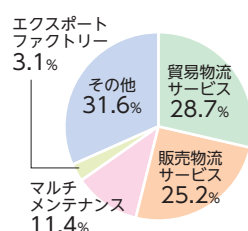
BIZ-ロジ事業は、ロジスティクス事業を中心に、国際一貫輸送サービスや海外生活支援のほか、国内ではリコールサポートサービスやメディカル製品物流サービスなど、お客様に革新的な物流システムを提供しています。今後も、これまで培ってきた基盤事業を高度化させ、「バリュー・ネットワーキング」構想の中核の役割として、グループの資源を活かした新しい付加価値を提供し、豊かな社会の実現に貢献していきます。

#### ●事業内容

- ・ロジスティクスサービス
- ・メディカル製品物流サービス
- ・メンテナンスサポートサービス
- ・リコールサポートサービス
- ・国際貨物一貫輸送サービス
- ・海外生活支援サービス など

#### ●営業収益構成比

(2015年4月1日～2015年9月30日)



#### 7月2日 WHAT'S NEW

ジャパネットたかた様へのサービス提供に続き、大手総合オンラインストアAmazon.co.jpに「クロネコ延長保証サービス」を提供開始

ヤマトマルチメンテナンスソリューションズは家電製品の延長保証の運用から修理手配、回収、返却まで一括に引き受ける「クロネコ延長保証サービス」を、Amazon.co.jpには初の延長保証事業者として提供開始しました。



### ホームコンビニ



#### 10月1日 WHAT'S NEW

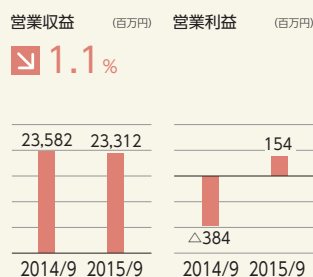
「快適生活サポートサービス」に新メニュー2つを追加

「清潔・便利・安心」をコンセプトに、生活にまつわる不便を解消するサービスである「快適生活サポートサービス」に、お客様のご要望が多い「洗濯機分解クリーニング」と「床抗菌コーティング」を新たに追加しました。

**ホームコンビニエンス事業**



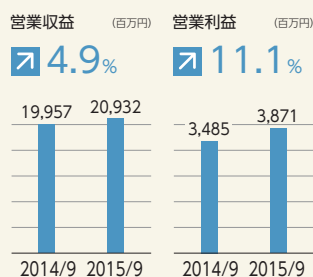
引越・生活サポート・流通サービスを中心とした地域密着型生活支援サービス



**e-ビジネス事業**



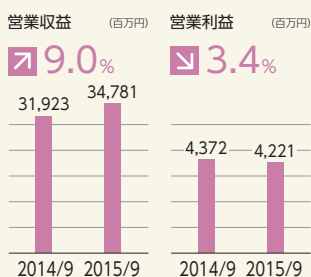
企業向けASPサービスや情報システム開発などの情報サービス



**フィナンシャル事業**



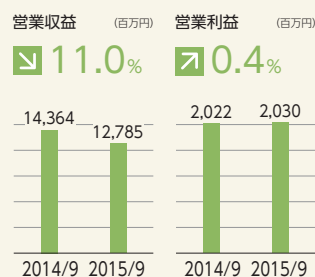
決済などの金融サービス



**オートワークス事業**



車両整備を中心とした運送事業者向けのトータルサポートサービス



Topics

いい競争で、いいサービスを。

クロネコヤマトは、「公平・公正な条件(イコール・フッティング)」のもとで生まれる競争こそが国民の利便性向上と経済の活性化につながると一貫して主張し続けており、11月12日、全国54紙に意見広告を掲載しました。詳しい内容は、ヤマト運輸のホームページにて解説しています。

<http://www.kuronekoyamato.co.jp/ad/20151112/index.html>



ニエンス事業

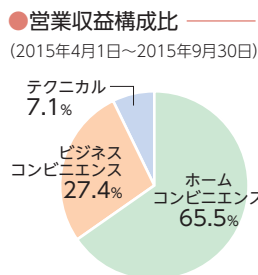
ヤマトホームコンビニエンス株式会社  
代表取締役社長 兼 社長執行役員

市野 厚史

ヤマトグループのネットワークを活用し、快適な暮らしやビジネスをサポートします。

ホームコンビニエンス事業は、引越、家財配達・セッティング、産地直送サービスや暮らしの便利を追求する生活支援などの生涯生活支援事業の展開や、企業や学校法人・行政などへの調達支援、役員提供などの法人活動支援事業を提供しています。特に、ハウスクリーニングやお部屋の整理収納などの、生活にまつわる不便を解消するサービス展開を進めています。

- 事業内容
- ・引越・生活関連サービス
  - ・家財・家電の集配・セッティングサービス
  - ・物品販売調達サービス など



# 連結財務諸表(要旨)

## 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

|                                | 前第2四半期<br>連結累計期間<br>2014年4月1日～<br>2014年9月30日 | 当第2四半期<br>連結累計期間<br>2015年4月1日～<br>2015年9月30日 |
|--------------------------------|--|--|
| 営業収益 ..... Point ①             | 673,237                                      | 683,785                                      |
| 営業原価                           | 633,922                                      | 645,448                                      |
| 営業総利益                          | 39,315                                       | 38,337                                       |
| 販売費及び一般管理費                     | 18,031                                       | 20,336                                       |
| 営業利益 ..... Point ②             | 21,284                                       | 18,000                                       |
| 営業外収益                          | 1,435  | 1,163  |
| 営業外費用                          | 397  | 537  |
| 経常利益                           | 22,322                                       | 18,627                                       |
| 特別利益                           | 664  | 54   |
| 特別損失                           | 687  | 89   |
| 税金等調整前四半期純利益                   | 22,299                                       | 18,592                                       |
| 法人税等                           | 10,129                                       | 8,707  |
| 四半期純利益                         | 12,169                                       | 9,884  |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益               | 20   | 125  |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 ..... Point ③ | 12,149                                       | 9,759  |

### ポイント解説

#### Point ①

デリバリー事業においては「宅急便コンパクト」「ネコポス」の拡販を進め、ノンデリバリー事業においては既存サービスが伸長しましたが、「クロネコメール便」の廃止による影響を補うには至らず、営業収益は前年同期に比べ1.6%増加の6,837億85百万円となりました。

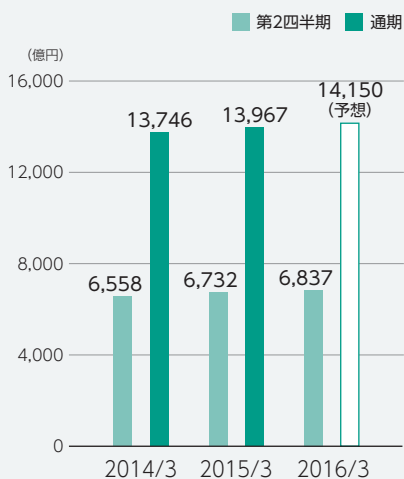
#### Point ②

労働需給の逼迫などによるコスト環境の悪化に伴い、営業利益は前年同期に比べ15.4%減少し、180億円となりました。

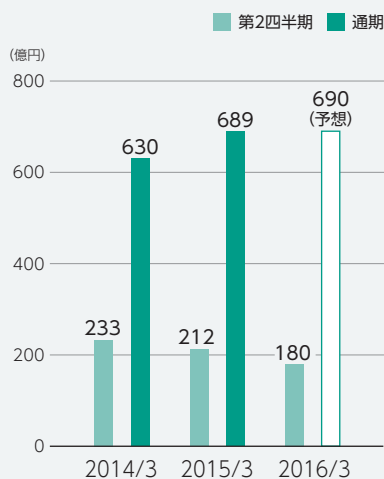
#### Point ③

当期における純利益は、前年同期に比べ19.7%減少の97億59百万円となりました。

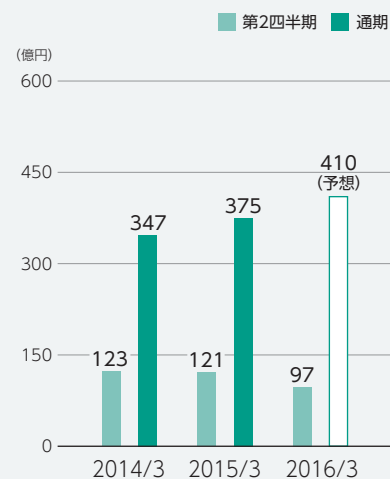
### 営業収益



### 営業利益



### 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益





## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

|                            | 前連結<br>会計年度<br>2015年3月31日 | 当第2四半期<br>連結会計期間<br>2015年9月30日 |
|----------------------------|---------------------------|--------------------------------|
| <b>[資産の部]</b>              |                           |                                |
| 流動資産                       | 566,205                   | 518,246                        |
| 固定資産                       | 516,325                   | 517,147                        |
| 有形固定資産                     | 420,101                   | 421,097                        |
| 無形固定資産                     | 17,600                    | 19,376                         |
| 投資その他の資産                   | 78,624                    | 76,673                         |
| <b>資産合計</b> ..... Point ①  | <b>1,082,531</b>          | <b>1,035,394</b>               |
| <b>[負債の部]</b>              |                           |                                |
| 流動負債                       | 357,034                   | 320,790                        |
| 固定負債                       | 154,297                   | 157,851                        |
| <b>負債合計</b> ..... Point ②  | <b>511,331</b>            | <b>478,641</b>                 |
| <b>[純資産の部]</b>             |                           |                                |
| 株主資本                       | 549,789                   | 537,097                        |
| その他の包括利益累計額                | 15,731                    | 13,794                         |
| 非支配株主持分                    | 5,678                     | 5,860                          |
| <b>純資産合計</b> ..... Point ③ | <b>571,199</b>            | <b>556,753</b>                 |
| <b>負債純資産合計</b>             | <b>1,082,531</b>          | <b>1,035,394</b>               |

### ポイント解説

#### Point ①

株主価値向上を目的とした自己株式の取得(取得期間:7月31日から8月13日まで)等により、現金及び預金が減少したことなどにより、総資産は前連結会計年度に比べ471億36百万円減少の1兆353億94百万円となりました。

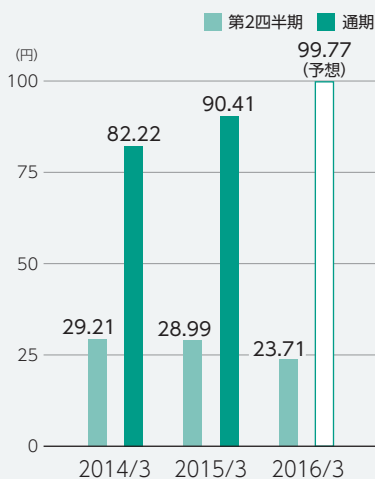
#### Point ②

支払手形及び買掛金、未払消費税等の減少などにより、負債は前連結会計年度に比べ326億90百万円減少の4,786億41百万円となりました。

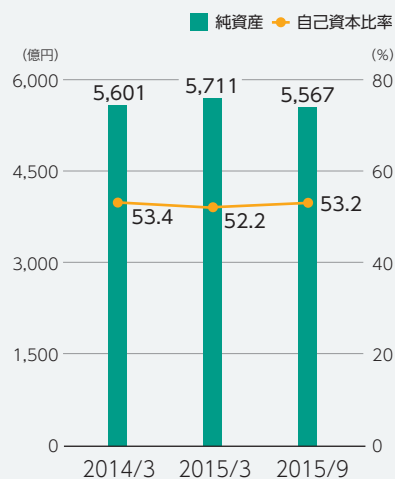
#### Point ③

当期における純利益を計上したこと、剰余金の配当を実施したことに加え、自己株式を取得したことなどにより、純資産は前連結会計年度に比べ144億46百万円減少の5,567億53百万円となりました。

### 1株当たり四半期(当期)純利益



### 純資産/自己資本比率



### 用語解説 親会社株主に 帰属する四半期 (当期)純利益

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益とは、税金等調整前四半期(当期)純利益から法人税等、非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益を差し引いて、最終的に残った利益のことです。一定期間の企業活動の結果、得られた純粋な成果であるといえます。

従来は「四半期(当期)純利益」と呼ばれていましたが会計基準と連結財務諸表規則が改正されたことにより、名称が変更されました。2016年3月期から適用されています。

# 連結財務諸表(要旨)

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

|   | 前第2四半期<br>連結累計期間<br>2014年4月1日～<br>2014年9月30日 | 当第2四半期<br>連結累計期間<br>2015年4月1日～<br>2015年9月30日 |
|---|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー <span style="color:red">Point 1</span> | 18,469                                       | △14,330                                      |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー <span style="color:red">Point 2</span> | △29,793                                      | △23,085                                      |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー <span style="color:red">Point 3</span> | 4,091  | △11,862                                      |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額  | △320   | △110   |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)                                     | △7,553                                       | △49,388                                      |
| 現金及び現金同等物の期首残高  | 219,395                                      | 247,051                                      |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額                                    | —  | 213  |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高  | 211,842                                      | 197,875                                      |

より詳細な連結財務諸表につきましては、  
ホームページ(<http://www.yamato-hd.co.jp/>)をご覧ください。

ヤマトホールディングス 財務

### ポイント解説

#### Point 1

未払消費税等の増減額が減少したことなどにより、営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ収入が327億99百万円減少し、143億30百万円の支出となりました。

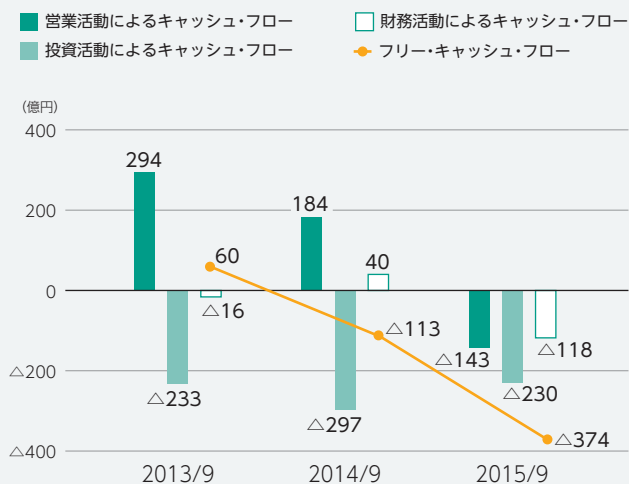
#### Point 2

有形固定資産の取得による支出が減少したことなどにより、投資活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ支出が67億7百万円減少し、230億85百万円の支出となりました。

#### Point 3

自己株式の取得による支出が増加したことなどにより、財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ収入が159億54百万円減少し、118億62百万円の支出となりました。

## キャッシュ・フロー



### 用語解説

#### キャッシュ・フローについて

##### ○営業活動によるキャッシュ・フロー

企業が営業活動から獲得したキャッシュから仕入れや事業活動に必要な諸費用を差し引いて、本来の営業活動から得られた金額を示します。

##### ○投資活動によるキャッシュ・フロー

企業が営業活動を維持拡大するための設備投資や資産の売却、資金の貸し付けや回収など、会社の将来を考えた諸活動にどの程度の額を回したのかを示します。

##### ○財務活動によるキャッシュ・フロー

営業活動および投資活動を維持するためにどの程度の資金調達をしたのか、もしくは余剰資金がある場合はそのうちどの程度の額を借入金等の返済に回したのかを示します。

# 株式の状況 / 会社概要 (2015年9月30日現在)

## 株式の状況

|          |                |
|----------|----------------|
| 発行可能株式総数 | 1,787,541,000株 |
| 発行済株式の総数 | 425,161,692株   |
| 株 主 数    | 36,083名        |

## 大株主

| 株主名                                 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-------------------------------------|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)             | 34,106  | 8.02    |
| ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505223     | 26,620  | 6.26    |
| ヤマトグループ社員持株会                        | 17,627  | 4.15    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)           | 17,201  | 4.05    |
| 株式会社みずほ銀行                           | 14,887  | 3.50    |
| 日本生命保険相互会社                          | 14,270  | 3.36    |
| 明治安田生命保険相互会社                        | 12,264  | 2.88    |
| ヤマトグループ取引先持株会                       | 8,832   | 2.08    |
| ステートストリートバンクウェストクライアントトリーティー-505234 | 6,233   | 1.47    |
| 損害保険ジャパン日本興亜株式会社                    | 6,033   | 1.42    |

※上記大株主より自己株式は除外しています。

## 会社概要

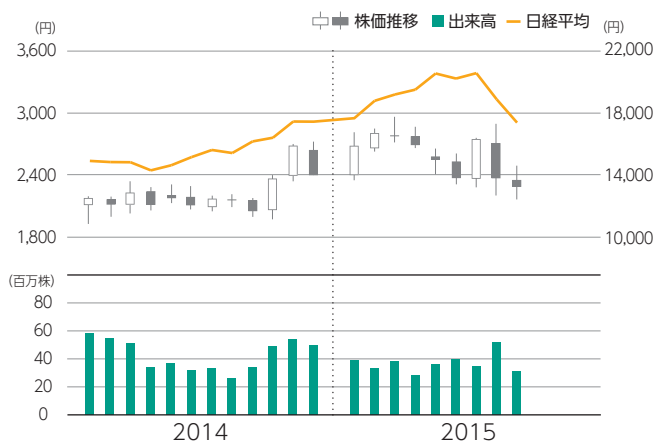
|       |   |
|-------|---|
| 商 号   | ヤマトホールディングス株式会社                                     |
| 本店所在地 | 〒104-8125 東京都中央区銀座二丁目16番10号<br>TEL 03(3541)4141(代表) |
| 創 業   | 1919(大正8)年11月29日                                    |
| 設 立   | 1929(昭和4)年4月9日                                      |
| 資 本 金 | 127,234,791,077円                                    |

### ●ヤマトグループホームページのご案内●

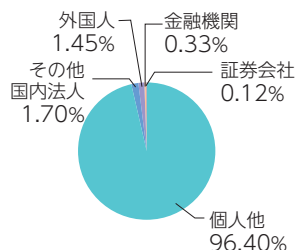
ヤマトグループに関するさまざまな情報がご覧いただけます。

<http://www.yamato-hd.co.jp/>

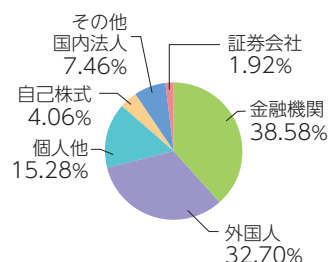
## 株価・売買高の推移(東京証券取引所)



## 株主数比率



## 株式数比率



## 株主メモ

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 決 算 期                 | 3月31日  |
| 定 時 株 主 総 会           | 6月に開催  |
| 期 末 配 当 基 準 日         | 3月31日  |
| 中 間 配 当 基 準 日         | 中間配当を行う場合には、9月30日  |
| 株 主 名 簿 管 理 人         | みずほ信託銀行株式会社<br>〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  |
| 事 務 取 扱 所<br>(手続お申出先) | みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部<br>〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>TEL 0120-288-324   |
| 公 告 方 法               | 電子公告 ( <a href="http://www.yamato-hd.co.jp/">http://www.yamato-hd.co.jp/</a> )<br>ただし、事故その他やむを得ない事由によって<br>電子公告による公告をすることができない場合<br>は、日本経済新聞に掲載して行います。 |
| 銘 柄 コ ー ド             | 9064   |



## ヤマトホールディングス株式会社

〒104-8125 東京都中央区銀座二丁目16番10号

TEL 03(3541)4141(代表)

<http://www.yamato-hd.co.jp/>

